



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月7日

上場会社名 川本産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 3604 URL <https://www.kawamoto-sangyo.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)福井 誠
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役執行役員経営企画室室長 (氏名)吉田 康晃 (TEL)06(6943)8951
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	14,604	△3.5	100	△64.0	218	△36.0	178	△17.7
2023年3月期第2四半期	15,130	0.2	278	△21.5	340	△17.7	217	△34.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 302百万円(△12.8%) 2023年3月期第2四半期 346百万円(12.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	30.84	—
2023年3月期第2四半期	37.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	19,540	7,517	34.9
2023年3月期	19,510	7,307	34.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 6,826百万円 2023年3月期 6,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	△1.3	500	△27.8	600	△27.3	470	△37.1	81.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	6,000,000株	2023年3月期	6,000,000株
2024年3月期2Q	204,480株	2023年3月期	204,480株
2024年3月期2Q	5,795,520株	2023年3月期2Q	5,795,520株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2023年5月上旬に新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症へ移行した結果、様々な行動制限が解除され、社会経済活動の正常化が進みました。一方、世界的な資源価格の上昇や急激な為替の変動、各地域での地政学リスクの高まりなど、依然として先行きは未だ不透明な状況が続きました。

当社グループが属する医療衛生材料業界は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、感染管理製品をはじめとした医療消耗品の市場が拡大いたしました。感染管理製品につきましては、感染者数によって製品の需要に多少の増減はあるものの、感染拡大が始まった2020年度と比較するとその需要は大きく減少しております。また、当業界は政府による医療費適正化に向けた取組みの流れの中にあり、衛生材料を含む医療消耗品は引き続き価格競争に晒されております。加えて、原材料価格やエネルギーコストの高騰、円安に起因する輸入品価格の上昇など、厳しい事業環境が続きました。育児用品の業界におきましては、2022年の国内出生数は77万人となり、7年連続で減少するなど引き続きマーケットの縮小に直面しております。

このような状況の下、当社はメディカル事業、コンシューマ事業ともに自社製品の売上高拡大及び利益率の改善を基本方針として取り組んでまいりました。売上高は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、メディカル事業、コンシューマ事業それぞれにおいて、当初想定していた以上に感染管理製品の需要が減少し、減収となりました。利益面では、売上高の減少に加え、原材料価格や光熱費等の上昇、円安による輸入品価格の高騰などにより売上原価が増加し、減益となりました。また、使用期限のある感染管理製品の一部を評価減したことも、減益の要因となりました。

以上の結果、第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は14,604,317千円（前年同四半期比3.5%減）、営業利益は100,307千円（同64.0%減）、経常利益は218,149千円（同36.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は178,726千円（同17.7%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(メディカル事業)

メディカル事業では感染管理製品や口腔ケア製品、手術関連製品の拡販及び製造受託の拡大に努めました。売上面では、感染管理製品は新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、医療従事者が使用する手指消毒剤や個人用防護具の売上が大きく減少いたしました。口腔ケア製品、手術関連製品では、積極的な販売活動の結果、前年同期比で約7%増加いたしました。また、医療機器等の製造受託においても、継続して受託活動に取り組んだ結果、前年同期比で約9%増加いたしました。売上が拡大した製品もあるものの、感染管理製品の減少をカバーするには至らず、減収となりました。利益面では、物流費やその他経費の削減に取り組みましたが、感染管理製品の販売価格の下落や原材料価格・光熱費等の上昇、円安による輸入製品の仕入価格高騰などにより減益となりました。また、使用期限のある感染管理製品の一部を評価減したことも、セグメント利益を減少させる要因となりました。

以上の結果、売上高は4,091,492千円（前年同期比3.0%減）、セグメント利益は122,911千円（同9.9%減）となりました。

(コンシューマ事業)

コンシューマ事業では、一般消費者や企業、各種施設に向けて、衛生材料・医療用品・介護用品・育児用品・安全衛生保護具等を積極的に販売いたしました。売上面では、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、カラーマスクを除く通常のマスクの売上が大きく減少いたしました。カラーマスクにつきましては堅調に推移しており、さらなる販売拡大を図るためにタレントを起用した広告宣伝を実施いたしました。介護製品につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は少なく、積極的な営業活動によりドラッグストア向けの販売が拡大し、前年同期比で約6%売上が増加いたしました。その他、育児用品、口腔ケア製品、各種衛生材料及び医療用品等につきましては、得意先ごとの増減はあるものの、堅調に推移しております。利益面では、物流費の削減に取り組んだものの、自社製品における原材料価格や光熱費等の上昇、円安による輸入製品の仕入価格高騰の影響を受けたことにより、減益となりました。

以上の結果、売上高は10,512,825千円（前年同期比3.7%減）、セグメント利益は389,098千円（同13.3%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は19,540,881千円、自己資本は6,826,828千円で、自己資本比率は34.9%（前連結会計年度末は34.1%）となりました。

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は19,540,881千円となり、前連結会計年度末に対して30,798千円増加いたしました。

流動資産は14,413,204千円で、前連結会計年度末に対して190,346千円減少いたしました。「現金及び預金」が379,805千円増加した一方で、「有価証券」が209,679千円減少、「商品及び製品」が271,644千円減少したことが主な要因です。

固定資産は5,127,677千円で、前連結会計年度末に対し221,145千円増加いたしました。「有形固定資産」が197,800千円増加したことが主な要因です。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は12,023,844千円となり、前連結会計年度末に対して178,523千円減少いたしました。

流動負債は8,389,050千円で、前連結会計年度末に対して393,865千円減少いたしました。「関係会社短期借入金」が130,009千円増加した一方で、「1年内返済予定の長期借入金」が509,707千円減少したことが主な要因です。

固定負債は3,634,794千円で、前連結会計年度末に対して215,341千円増加いたしました。「役員退職慰労引当金」が186,922千円減少した一方で、「長期借入金」が401,908千円増加したことが主な要因です。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は7,517,037千円となり、前連結会計年度末に対して209,322千円増加いたしました。「利益剰余金」が85,998千円増加、「為替換算調整勘定」が65,418千円増加したことが主な要因です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2023年5月9日に公表いたしました、2024年3月期の通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2023年11月2日公表の「2024年3月期第2四半期累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

資料に記載されている業績予想に関する記述につきましては、当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績につきましては、当社グループの事業を取り巻く様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,317,653	1,697,459
受取手形及び売掛金	4,864,781	4,863,804
電子記録債権	4,473,846	4,441,108
有価証券	211,972	2,293
商品及び製品	2,368,674	2,097,030
仕掛品	352,190	340,764
原材料及び貯蔵品	198,638	216,628
その他	836,120	774,069
貸倒引当金	△20,327	△19,953
流動資産合計	14,603,550	14,413,204
固定資産		
有形固定資産	3,128,222	3,326,023
無形固定資産		
のれん	237,690	228,843
その他	456,147	467,518
無形固定資産合計	693,837	696,361
投資その他の資産		
繰延税金資産	227,398	180,329
その他	886,013	953,902
貸倒引当金	△28,939	△28,938
投資その他の資産合計	1,084,472	1,105,292
固定資産合計	4,906,532	5,127,677
資産合計	19,510,083	19,540,881

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,788,501	3,864,966
短期借入金	1,000,000	1,075,000
関係会社短期借入金	1,500,000	1,630,009
1年内返済予定の長期借入金	1,245,677	735,970
未払法人税等	212,626	51,666
賞与引当金	173,914	134,843
返金負債	235,004	209,587
その他	627,191	687,007
流動負債合計	8,782,915	8,389,050
固定負債		
長期借入金	2,461,263	2,863,172
退職給付に係る負債	420,924	403,578
役員退職慰労引当金	186,922	-
資産除去債務	30,035	47,633
その他	320,307	320,410
固定負債合計	3,419,453	3,634,794
負債合計	12,202,368	12,023,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	883,000	883,000
資本剰余金	1,148,407	1,148,407
利益剰余金	4,140,288	4,226,287
自己株式	△74,457	△74,457
株主資本合計	6,097,238	6,183,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180,895	224,744
為替換算調整勘定	182,701	248,119
退職給付に係る調整累計額	185,876	170,727
その他の包括利益累計額合計	549,473	643,591
非支配株主持分	661,002	690,208
純資産合計	7,307,714	7,517,037
負債純資産合計	19,510,083	19,540,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	15,130,485	14,604,317
売上原価	12,484,819	12,178,003
売上総利益	2,645,666	2,426,313
販売費及び一般管理費	2,366,817	2,326,005
営業利益	278,849	100,307
営業外収益		
受取利息	414	2,005
受取配当金	7,366	8,059
為替差益	19,192	74,506
仕入割引	31,195	27,244
その他	14,363	20,597
営業外収益合計	72,532	132,413
営業外費用		
支払利息	8,091	12,565
その他	2,407	2,006
営業外費用合計	10,498	14,571
経常利益	340,882	218,149
特別利益		
固定資産売却益	-	632
投資有価証券売却益	-	0
子会社役員退職金返上益	-	70,000
特別利益合計	-	70,633
特別損失		
固定資産除売却損	81	51
事務所移転費用	3,153	-
特別損失合計	3,235	51
税金等調整前四半期純利益	337,647	288,731
法人税、住民税及び事業税	106,725	47,582
法人税等調整額	8,480	33,215
法人税等合計	115,206	80,798
四半期純利益	222,440	207,933
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,352	29,206
親会社株主に帰属する四半期純利益	217,088	178,726

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	222,440	207,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,365	43,848
為替換算調整勘定	146,175	65,418
退職給付に係る調整額	△8,772	△15,148
その他の包括利益合計	124,037	94,117
四半期包括利益	346,477	302,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	341,125	272,844
非支配株主に係る四半期包括利益	5,352	29,206

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	メディカル事業	コンシューマ事業	計		
売上高					
国内製造事業	3,887,679	1,032,832	4,920,511	—	4,920,511
国内卸売事業	—	9,699,531	9,699,531	—	9,699,531
海外事業	328,386	—	328,386	—	328,386
その他の事業	—	182,057	182,057	—	182,057
外部顧客への売上高	4,216,065	10,914,420	15,130,485	—	15,130,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,216,065	10,914,420	15,130,485	—	15,130,485
セグメント利益	136,432	448,754	585,186	△244,304	340,882

(注) 1. セグメント利益の調整額△244,304千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益の額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	メディカル事業	コンシューマ事業	計		
売上高					
国内製造事業	3,632,437	1,383,787	5,016,224	—	5,016,224
国内卸売事業	—	8,983,595	8,983,595	—	8,983,595
海外事業	459,055	—	459,055	—	459,055
その他の事業	—	145,443	145,443	—	145,443
外部顧客への売上高	4,091,492	10,512,825	14,604,317	—	14,604,317
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,091,492	10,512,825	14,604,317	—	14,604,317
セグメント利益	122,911	389,098	512,009	△293,860	218,149

(注) 1. セグメント利益の調整額△293,860千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益の額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。